

10年以上前に一斉を風靡したVS KFが スタンスシーンに旋風を巻き起こす!



① 力強さと流麗さが同居したスポーク側面に初代になかったデコルテのようなエッジラインを追加。スタイリッシュかつスポーティ。② 骨太で力強い5本スポークはアール基調の流麗な造形で、立体感の強いラウンドフォルム。ダイナミックでありつつ優雅さも備わる。③ 18~21インチのラインナップで、リムは最大15Jまでと、絶対的なディープリム設計も魅力。リムはリバースとフルリバースを用意。



WORK VS KF# [ワーク・フイエス ケーエフ シャープ]

サイズ	[5H-P.C.D.114.3/100] 18×7~14J、19×7.5~15J [5H-P.C.D.114.3] 20×7.5~15J、21×7.5~14J
価格	8万6900~15万9500円
カラー	ライトグレイッシュシルバー、ブリリアントシルバーブラック
構造	鋳造3ピース

ドリ車のイメージを払拭するS15メイク



↑ 足回りはD-MAXの車高調にブラケット加工を施したロームエアのエアサスをミックス。リアフェンダーは15mmのワイド加工。リアバンパーにはアンダーパネルも加工で取り付けた。ブレーキローターは326/パワー製を選択。

← エキマニから触媒まで排気類はすべてD-MAX。マフラーは排気口だけを残してパイピングを移植した。トラスのスロットルや水谷自動車強化マウント、オーディオコイルなどで走りも強化。エンジンルームの魅せデカラも強烈。



④ ドリ車っぽさは封印し、高級感とオシャレさにベクトルを向けたユニワーク製作のS15。オリジナル色でのオールペンをはじめ、純正部品は外さずに加工と塗装で変化をつけた。ヴェルテックスエッジのエアロにカナードやディフューザーをプラスしている。⑤ ボンネットもヴェルテックスエッジのウェットカーボン製で統一。ヘッドライトにはワイズスクエアのリベアレンスキットを使用して古さ感を払拭した。パーツの自作やエアロの加工といった独自のアレンジでオシャレにカスタム。⑥ フロントシートにはグッドガンレーシングのセミバケットをインストール。フロアカーペットはアルミ加工し、センターコンソールの塗装やニスモ製メーターも取り入れて、S15らしいスポーツテイストも盛り込んだ。実はアンダーネオンも搭載。⑦ これまでトランクに積載していたエアサスはリアシート位置へ移設。ロームエアと協力してワンオフのハードラインパイピングも採り入れるなど、魅せる要素を強めている。



装着ホイール&タイヤサイズ: F/18×10J OUT35&215/30R18 / R/18×10.5J OUT36&225/35R18

NEW WHEEL COLLECTION Stancenation JAPAN

スタンスネイションジャパン大阪で注目された NEW ホイールをピックアップ!
1 発目は圧倒的な人気を誇った名作ホイールのアップデートモデルの登場だ!!

●ベースカー/シルビア(S15) 1999年型
●車両協力/ユニワーク ☎06-4960-7222
PHOTO/南井浩孝 TEXT/酒井賢次



WORK VS KF#



問>> ワーク ☎06-6746-2859/048-688-7555/052-777-4512
www.work-wheels.co.jp

シルビアといえばドリフト。そんなイメージがガッチリと固まっていた。だからこそ、あえて逆に高級感やオシャレ度にこだわったのがユニワークのS15。ヴェルテックスエッジのエアロを加工し、大胆なワイドフェンダーやオリジナル色でのオールペンで華やかさも演出する。後席に設置されたロームエアのエアサスは、ハードラインのパイピングでインパクトも底上げた。

ドリ車風ではない、あえてのショーカイ仕立てのスタンス系だからこそ、パツグンの存在感を放ってくれるのが足元に投入した「VS KF#」だ。VS KFはそもそも2017年に圧倒的な人気を誇りつつ、惜しまれながらも市場から姿を消したモデル。特にVIPセダンシーンからの支持は絶大で、その妖艶なデザインと強烈なディープリムで高級車たちの足元を華々しく飾ったVSきっての名作だ。

VS KF#は、そんな初代のスタイリングを継承しつつ、これまでのスペックを一新。最新の設計と解析技術を駆使して進化を遂げたアップデート版。ショーカイの足元にはうってつけだ。

初代の雰囲気は確かに残るが、そのディテールはまったくの別モノ。流麗で広がり感の強いスポークは、さらに筋張らせてデコルテのようなエッジラインを形成。エッジは効いているのだが、スポーク全体はなめらかなアールで構成されているためエレガントで、そこには力強さと繊細さ、ダイナミックさという複数の要素が絶妙にミックスされている。

名作の系譜であり、機能面で大幅にアップデートされたVS KF#は、その美しいフォルムも含めてとにかく映えるスリピーズモデル。キレイに魅せるをテーマとした、このS15のようなスタンスでこそ、その真価は発揮される。スタンスVS KF#、絶対にアリだ。